

よっかまちやんべまちせん
都市計画道路3・4・28四日町山家町線 街路事業概要

<事業箇所>

山形市薬師町（やくしまち）地内から同市印役町（いんやくまち）地内

〔県道名：主要地方道 山形山寺線（やまがたやまでらせん）〕

<事業概要>

四日町山家町線は、国道13号と山形市中心部を結ぶ東西の幹線道路です。

新築西通りとの交差点から、馬見ヶ崎川右岸までの637mを事業区間としています。

当区間は、朝夕の交通渋滞や歩行者及び自転車利用者の安全確保、

馬見ヶ崎橋の老朽化等が課題となっていることから、現在、全幅9mの道路を車道2車線及び両側4.5m歩道の全幅20m（橋梁部は18.8m）に拡幅する整備を行っています。

馬見ヶ崎橋は架け替え工事を行い平成28年12月に開通するとともに、道路の拡幅に合わせて電線共同溝を整備し、地元の協力を得ながら、沿道の景観とも調和を図り、円滑かつ安全で快適な道路環境の確保に向けた整備を進めています。

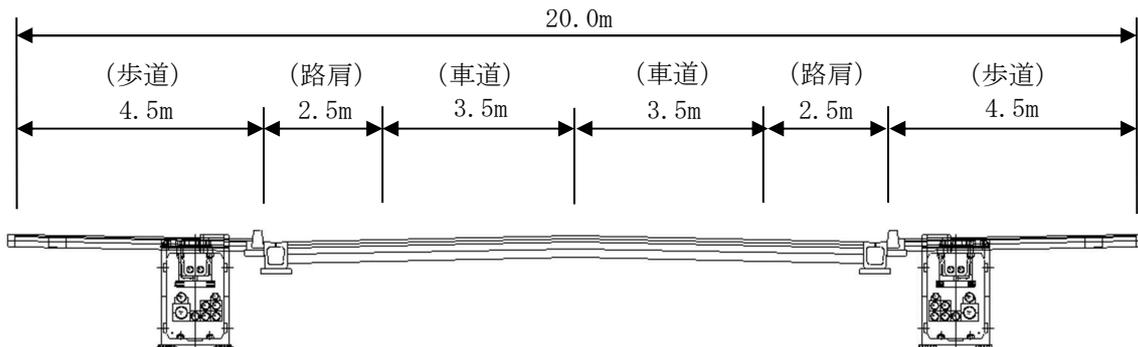
<位置図>



<事業計画>

- ・事業延長：637.1m
- ・計画幅員：20m（車道両側に幅4.5mの歩道を設置）
※橋梁部は18.8m（車道両側に幅3.5mの歩道を設置）
- ・車線数：2車線
- ・事業認可：平成15年度～
- ・総事業費：66億円

<標準横断図>



<事業箇所写真>



(起点(薬師町交差点)から終点を望む。令和2年5月撮影)



(馬見ヶ崎橋架替状況：北側から南側を望む。令和元年11月撮影)